

2023年度 情報キャリアプロ学科 実務教員等による授業科目の配置

情報キャリアプロ学科(1年生)

実務教員対応科目	授業科目	前期	後期	時間数	備考
	社会人基礎力	○		90	
	筆記試験対策		○	60	
	業界研究		○	30	
	企業研究		○	30	
◎	情報技術	○	○	420	前期:300時間、後期:120時間
	プログラミング技法	○	○	210	
	アプリ開発	○	○	150	
※後期担当教員未定のため記載なし				990	

情報キャリアプロ学科(2年生)

実務教員対応科目	授業科目	前期	後期	時間数	備考
	就職研究	○	○	60	
	プログラミング技法	○		90	
	アプリ開発	○	○	420	
	サーバ管理	○		90	
	セキュリティ技術		○	60	
	デジタル技術		○	60	
	選択科目	○	○	120	
	集中対策	○	○	90	
※後期担当教員未定のため記載なし				990	

実務教員担当科目 合計時間:300時間

科目名		講座名	年度/時期	授業形態
情報技術		情報技術(コンピュータ技術)	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分(2時間換算)	75回	5単位(150時間)		松尾源, 則登志, 橋本, 森友紀
科目のねらい				
日本のIT産業に携わる者にとっての基本となるこの知識体系は、国家試験「基本情報技術者試験(FE)」のシラバスとしてまとめられている。本科目では、このシラバスに準拠して基本的なテクノロジー知識を習得する。				
授業の概要				
基本情報技術者試験の合格レベルに相当する、基本的な技術知識/問題文の読解力/アルゴリズムについて学ぶ。 6月第2日曜に実施されるIPA修了試験までは、基本情報技術者試験「科目A」の合格レベルに相当する、基本的な技術知識について学ぶ。 6月第2日曜に実施されるIPA修了試験後は、基本情報技術者試験「科目B」と情報セキュリティマネジメント試験「科目B」の合格レベルに相当する基本的な技術知識/問題文の読解力/アルゴリズムについて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
基本情報技術者試験と情報セキュリティマネジメント試験「科目B」の合格レベルに相当する、基本的な基本的な技術知識/問題文の読解力/アルゴリズムを習得する。				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	ITワールド 第1部 ハードウェア	第1章 コンピュータの基本構成		
3~ 4	ITワールド 第1部 ハードウェア	第2章 コンピュータのデータ表現		
5~ 6	ITワールド 第1部 ハードウェア	第3章 中央処理装置と主記憶装置		
7~ 8	ITワールド 第1部 ハードウェア	第4章 補助記憶装置		
9~ 10	ITワールド 第1部 ハードウェア	第5章 入出力装置		
11~ 12	ITワールド 第2部 情報処理システム	第1章 情報処理システムの処理形態		
13~ 14	ITワールド 第2部 情報処理システム	第2章 高信頼化システムの構成		
15~ 16	ITワールド 第2部 情報処理システム	第3章 情報処理システムの評価		
17~ 18	ITワールド 第2部 情報処理システム	第4章 ヒューマンインターフェース		
19~ 20	ITワールド 第2部 情報処理システム	第5章 マルチメディア		
21~ 22	ITワールド 第3部 ソフトウェア	第1章 ソフトウェアの分類		
23~ 24	ITワールド 第3部 ソフトウェア	第2章 OS(オペレーティングシステム)		
25~ 26	ITワールド 第3部 ソフトウェア	第3章 プログラム言語と言語プロセッサ		
27~ 28	ITワールド 第3部 ソフトウェア	第4章 ファイル		

回	テ　　マ	内　　　容
29～ 30	ITワールド 第4部 データベース	第1章 データベースの概要

回	テ ー マ	内 容
31～ 32	ITワールド 第4部 データベース	第2章 SQL
33～ 34	ITワールド 第4部 データベース	第3章 いろいろなデータベース
35～ 36	ITワールド 第5部 ネットワーク	第1章 インターネット
37～ 38	ITワールド 第5部 ネットワーク	第2章 ネットワークアーキテクチャ
39～ 40	ITワールド 第5部 ネットワーク	第3章 LAN
41～ 42	ITワールド 第5部 ネットワーク	第4章 ネットワークの仕組み
43～ 44	ITワールド 第5部 ネットワーク	第5章 ネットワーク管理
45～ 46	ITワールド 第6部 セキュリティ	第1章 情報セキュリティの概要
47～ 48	ITワールド 第6部 セキュリティ	第2章 情報セキュリティ対策
49～ 50	ITワールド 第7部 データ構造とアルゴリズム	第1章 データ構造
51～ 52	ITワールド 第7部 データ構造とアルゴリズム	第2章 基本アルゴリズム
53～ 56	出るところだけ！基本情報技術者 [科目 B] 第3版 第2部 情報セキュリティ	第1章 サイバー攻撃
57～ 59	出るところだけ！基本情報技術者 [科目 B] 第3版 第2部 情報セキュリティ	第2章 情報セキュリティ対策
60～ 62	出るところだけ！基本情報技術者 [科目 B] 第3版 第2部 情報セキュリティ	第3章 問題演習
63～ 64	基本情報マニュアル セキュリティマネジメント対策	序章1 科目B トラップ対策
65～ 68	基本情報マニュアル セキュリティマネジメント対策	序章2 科目B 虎の巻
69～ 70	基本情報マニュアル セキュリティマネジメント対策	予想問題
71	基本情報マニュアル SGサンプル問題 [科目B]	問題 1 7
72	基本情報マニュアル SGサンプル問題 [科目B]	問題 1 8
73	基本情報マニュアル SGサンプル問題 [科目B]	問題 1 9

回	テーマ	内 容		
74	基本情報マニュアル SGサンプル問題 [科目B]	問題20		
75	考査	情報セキュリティマネジメント [科目B]		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ITワールド、IT戦略とマネジメント、出るところだけ！基本情報技術者 [科目B] 第3版、基本情報マニュアル、別冊 過去問題、基本情報技術者試験 [科目A] 問題集、ノートパソコン		以下備考欄【評価項目（評価の方法）】参照	100.0%	<p>【受講ルール等】：IPA修了試験と基本情報技術者試験を受験する</p> <p>【評価の観点】：基本情報技術者試験の合格レベルに相当する、基本的な技術知識／問題文の読解力／アルゴリズムを習得しているか。</p> <p>【その他】：「コンピュータ技術」と「システム戦略」を合わせて授業を実施する。したがって、下記の講数単位の計画には「コンピュータ技術」（5単位，75講）と「システム戦略」（5単位，75講）を合わせて記載する。</p> <p>【評価項目（評価の方法）】：IPA修了試験の得点、基本情報技術者試験の得点、考査の得点を重み付けして総合的に評価する。なお、欠席／遅刻／早退はその回数に応じて減点をおこなう。</p>

◎実務教員対応科目

作成者:羽澄 都

科目名		講座名	年度/時期	授業形態
情報技術		情報技術 (システム戦略)	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分 (2時間換算)	75回	5単位 (150時間)		木下稔, 松尾源, 則登志
科目のねらい				
日本のIT産業に携わる者にとっての基本となるこの知識体系は、国家試験「基本情報技術者試験 (FE)」のシラバスとしてまとめられている。本科目では、このシラバスに準拠して基本的なテクノロジー知識を習得する。				
授業の概要				
基本情報技術者試験の合格レベルに相当する、基本的な技術知識/問題文の読解力/アルゴリズムについて学ぶ。 6月第2日曜に実施されるIPA修了試験までは、基本情報技術者試験「科目A」の合格レベルに相当する、基本的な技術知識について学ぶ。 6月第2日曜に実施されるIPA修了試験後は、基本情報技術者試験「科目B」と情報セキュリティマネジメント試験「科目B」の合格レベルに相当する基本的な技術知識/問題文の読解力/アルゴリズムについて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
基本情報技術者試験と情報セキュリティマネジメント試験「科目B」の合格レベルに相当する、基本的な基本的な技術知識/問題文の読解力/アルゴリズムを習得する。				
回	テーマ	内容		
1~ 2	IT戦略とマネジメント 第1部 企業と法務	第1章 企業活動		
3~ 4	IT戦略とマネジメント 第1部 企業と法務	第2章 企業会計		
5~ 6	IT戦略とマネジメント 第1部 企業と法務	第3章 経営科学		
7~ 8	IT戦略とマネジメント 第1部 企業と法務	第4章 法務と標準化		
9~ 10	IT戦略とマネジメント 第2部 経営戦略	第1章 経営戦略マネジメント		
11~ 12	IT戦略とマネジメント 第2部 経営戦略	第2章 技術戦略マネジメント		
13~ 14	IT戦略とマネジメント 第2部 経営戦略	第3章 ビジネスインダストリ		
15~ 16	IT戦略とマネジメント 第3部 情報システム戦略	第1章 情報システム戦略の概要		
17~ 18	IT戦略とマネジメント 第3部 情報システム戦略	第2章 情報システム企画		
19~ 20	IT戦略とマネジメント 第4部 開発技術	第1章 システム開発技術		
21~ 22	IT戦略とマネジメント 第4部 開発技術	第2章 ソフトウェア開発技術		
23~ 24	IT戦略とマネジメント 第4部 開発技術	第3章 システム開発環境		
25~ 26	IT戦略とマネジメント 第4部 開発技術	第4章 Webアプリケーション開発		
27~ 28	IT戦略とマネジメント 第5部 プロジェクトマネジメント	第1章 プロジェクトマネジメントの概要		

回	テ ー マ	内 容
29～ 30	IT戦略とマネジメント 第5部 プロジェクトマネジメント	第2章 プロジェクトマネジメントのプロセス

回	テ ー マ	内 容
31～ 32	IT戦略とマネジメント 第6部 サービスマネジメント	第1章 サービスマネジメントの概要
33～ 34	IT戦略とマネジメント 第6部 サービスマネジメント	第2章 サービスマネジメントの手法
35～ 36	IT戦略とマネジメント 第7部 システム監査と内部統制	第1章 システム監査
37～ 38	IT戦略とマネジメント 第7部 システム監査と内部統制	第2章 内部統制
39～ 41	出るところだけ！基本情報技術者〔科目B〕第3版 第1部 擬似言語	第1章 文法
42～ 44	出るところだけ！基本情報技術者〔科目B〕第3版 第1部 擬似言語	第2章 一次元配列
45～ 47	出るところだけ！基本情報技術者〔科目B〕第3版 第1部 擬似言語	第3章 二次元配列
48	出るところだけ！基本情報技術者〔科目B〕第3版 第1部 擬似言語	第4章 ありえない選択肢
49～ 51	出るところだけ！基本情報技術者〔科目B〕第3版 第1部 擬似言語	第5章 オブジェクト指向
52	出るところだけ！基本情報技術者〔科目B〕第3版 第1部 擬似言語	第6章 スタック
53	出るところだけ！基本情報技術者〔科目B〕第3版 第1部 擬似言語	第7章 キュー
54	出るところだけ！基本情報技術者〔科目B〕第3版 第1部 擬似言語	第8章 リスト
55～ 58	出るところだけ！基本情報技術者〔科目B〕第3版 第1部 擬似言語	第9章 問題演習
59	基本情報マニュアル FEサンプル問題〔科目B〕	問題 1
60	基本情報マニュアル FEサンプル問題〔科目B〕	問題 2
61	基本情報マニュアル FEサンプル問題〔科目B〕	問題 3
62	基本情報マニュアル FEサンプル問題〔科目B〕	問題 4
63	基本情報マニュアル FEサンプル問題〔科目B〕	問題 5
64	基本情報マニュアル FEサンプル問題〔科目B〕	問題 6



回	テ ー マ	内 容
65	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題7

回	テ ー マ	内 容		
66	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題 8		
67	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題 9		
68	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題 10		
69	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題 11		
70	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題 12		
71	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題 13		
72	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題 14		
73	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題 15		
74	基本情報マニュアル FEサンプル問題 [科目B]	問題 16		
75	考査	基本情報技術者 [科目B]		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ITワールド、IT戦略とマネジメント、出るところだけ！基本情報技術者 [科目B] 第3版、基本情報マニュアル、別冊 過去問題、基本情報技術者試験 [科目A] 問題集、ノートパソコン		以下備考欄【評価項目（評価の方法）】参照	100.0%	<p>【受講ルール等】：IPA修了試験と基本情報技術者試験を受験する</p> <p>【評価の観点】：基本情報技術者試験の合格レベルに相当する、基本的な技術知識／問題文の読解力／アルゴリズムを習得しているか。</p> <p>【その他】：「コンピュータ技術」と「システム戦略」を合わせて授業を実施する。したがって、下記の講数単位の計画には「コンピュータ技術」（5単位，75講）と「システム戦略」（5単位，75講）を合わせて記載する。</p> <p>【評価項目（評価の方法）】：IPA修了試験の得点、基本情報技術者試験の得点、考査の得点を重み付けして総合的に評価する。なお、欠席／遅刻／早退はその回数に応じて減点をおこなう。</p>

2022年以前 情報キャリアプロ学科 実務教員等による授業科目の配置

情報キャリアプロ学科(1年)

実務教員対応科目	科目名		前期	後期	時間数	備考
	社会人基礎力		○		90	
	一般教養			○	60	
	業界研究			○	30	
	企業研究			○	30	
	コンピュータ技術		○		180	
	システム戦略		○		180	
	マイクロソフトオフィススペシャリスト			○	60	
	資格対策			○	60	
	Java基礎		○	○	90	
	Androidアプリ			○	120	
	応用情報集中対策	選択B群		○	90	
	基本情報集中対策			○	90	
	ITパスポート集中対策			○	90	
	情報セキュリティマネジメント集中対策			○	90	
	ベンダー資格集中対策			○	90	
	合計				990	

※後期担当教員未定のため記載なし

※選択B群より1科目選択

情報キャリアプロ学科(2年)

実務教員対応科目	科目名		前期	後期	時間数	備考
	就職研究		○	○	60	
◎	Androidアプリ演習		○		180	前期:180時間
	Webアプリ		○	○	240	
	HTML5		○		90	
	Webセキュリティ			○	60	
	Linux		○		90	
	クラウドサービス			○	60	
	プロジェクト管理			○	30	
	CG素材制作	選択A群	○	○	120	
	アルゴリズム		○	○	120	
	ネットワーク		○	○	120	
	英会話		○	○	120	
	応用情報集中対策	選択B群	○	○	60	
	基本情報集中対策		○	○	60	
	ITパスポート集中対策		○	○	60	
	情報セキュリティマネジメント集中対策		○	○	60	
	ベンダー資格集中対策		○	○	60	
	合計				990	

※後期担当教員未定のため記載なし

※選択B群より1科目選択

実務教員担当科目 合計時間:180時間

## ◎実務教員対応科目

作成者:橋本 祐史

科目名		講座名	年度/時期	授業形態
Androidアプリ演習		Androidアプリ演習TS1	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分(2時間換算)	90回	6単位(180時間)		石谷 京子
科目のねらい				
スマートフォン/タブレットの出荷台数はすでにPCを越えており、これらを活用した業務システムの開発ニーズは今後も着実に増えていくと予想される。本科目では、Java言語によるAndroidネイティブアプリ開発技術を演習を通して習得する。さらに、オリジナルのAndroidアプリ企画・プロトタイプ開発をおこなう。				
授業の概要				
統合開発環境Android Studio上のJava言語によってAndroidネイティブアプリが開発できる技術知識を演習を通して習得する。リファレンスマニュアルやAndroidアプリ開発に関するblog記事などを調べてそのコードを使うことができる技術知識を実機演習を通して習得する。外部コンテストに向けて、2~3人のグループを組みAndroidアプリを作成する。				
授業終了時の到達目標				
Androidネイティブアプリが開発できる技術知識を習得すること。外部コンテストに向けて、アプリの企画および制作を行うこと。また、作成したアプリのプレゼンテーションを行うこと。				
回	テーマ	内容		
1	Android学習 #01	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) / 1年のAndroid開発復習		
2	Android学習 #02	1年のAndroid開発復習		
3	Android学習 #03	SQLiteを利用したAndroidプログラミングを学習		
4	Android学習 #04	SQLiteを利用したAndroidプログラミングを学習		
5	Android学習 #05	パーミッションを利用するためのAndroidプログラミングを学習		
6	Android学習 #06	パーミッションを利用するためのAndroidプログラミングを学習		
7	Android学習 #07	FirebaseCloudFirestoreを利用したAndroidプログラミングを学習(#1)		
8	Android学習 #08	FirebaseCloudFirestoreを利用したAndroidプログラミングを学習(#1)		
9	Android学習 #09	FirebaseCloudFirestoreを利用したAndroidプログラミングを学習(#2)		
10	Android学習 #10	FirebaseCloudFirestoreを利用したAndroidプログラミングを学習(#2)		
11	Android学習 #11	FirebaseAuthenticationを利用したAndroidプログラミングを学習		
12	Android学習 #12	FirebaseAuthenticationを利用したAndroidプログラミングを学習		
13	Android学習 #13	GoogleMapsを利用するためのAndroidプログラミングを学習		
14	Android学習 #14	GoogleMapsを利用するためのAndroidプログラミングを学習		
15	Android学習 #15	JSON形式データを操作するAndroidプログラミングを学習(#1)		

回	テ ー マ	内 容
16	Android学習 #16	JSON形式データを操作するAndroidプログラミングを学習(#2)
17	Android学習 #17	ASyncTaskを利用するためのAndroidプログラミングを学習
18	Android学習 #18	ASyncTaskを利用するためのAndroidプログラミングを学習
19	考査	筆記試験
20	チーム開発準備 #01	開発チームの決定及び、開発の準備
21	チーム開発準備 #02	アプリのアイデア出し
22	チーム開発準備 #03	アプリのアイデア出し
23	チーム開発準備 #04	アイデアまとめ
24	チーム開発準備 #05	アイデアまとめ
25	チーム開発準備 #06	資料作成
26	チーム開発準備 #07	資料作成
27	チーム開発準備 #08	企画発表リハーサル準備#1
28	チーム開発準備 #09	企画発表リハーサル#1
29	チーム開発準備 #10	企画発表リハーサル準備#2
30	チーム開発準備 #11	企画発表リハーサル#2
31	チーム開発準備 #12	企画修正・仕様検討
32	チーム開発準備 #13	企画修正・仕様検討
33	企画プレゼン	プレゼンテーション練習／企画案・資料の見直し
34	企画プレゼン	プレゼンテーション練習／企画案・資料の見直し
35	アプリ開発#01	作品の制作
36	アプリ開発#02	作品の制作
37	アプリ開発#03	作品の制作
38	アプリ開発#04	作品の制作
39	アプリ開発#05	作品の制作

回	テ ー マ	内 容
40	アプリ開発#06	作品の制作
41	アプリ開発#07	作品の制作
42	アプリ開発#08	作品の制作
43	アプリ開発#09	作品の制作
44	アプリ開発#10	作品の制作
45	アプリ単体テスト#01	作品の単体テスト
46	アプリ単体テスト#02	作品の単体テスト
47	アプリ単体テスト#03	作品の単体テスト
48	アプリ単体テスト#04	作品の単体テスト
49	アプリ単体テスト#05	作品の単体テスト
50	アプリ単体テスト#06	単体確認した作品から必要な部分抽出
51	アプリ結合テスト#01	分担作成したコードのマージ
52	アプリ結合テスト#02	分担作成したコードのマージ
53	アプリ結合テスト#03	作品の画面・機能の結合テスト
54	アプリ結合テスト#04	作品の画面・機能の結合テスト
55	アプリ結合テスト#05	作品の画面・機能の結合テスト
56	アプリ結合テスト#06	作品の画面・機能の結合テスト
57	アプリ総合テスト#01	シナリオに沿ったテストの実施
58	アプリ総合テスト#02	シナリオに沿ったテストの実施
59	アプリ総合テスト#03	シナリオに沿ったテストの実施
60	アプリ総合テスト#04	シナリオに沿ったテストの実施
61	アプリ総合テスト#05	シナリオに沿ったテストの実施
62	アプリ総合テスト#06	シナリオに沿ったテストの実施
63	アプリブラッシュアップ#01	改善点の洗い出し

回	テ ー マ	内 容
64	アプリブラッシュアップ#02	改善の実施
65	アプリブラッシュアップ#03	改善の実施
66	アプリブラッシュアップ#04	改善の実施
67	アプリブラッシュアップ#05	作品の画面・機能の結合テスト
68	アプリブラッシュアップ#06	作品の画面・機能の結合テスト
69	プレゼン資料作成#01	発表用の資料作成
70	プレゼン資料作成#02	発表用の資料作成
71	プレゼン資料作成#03	発表用の資料作成
72	プレゼン資料作成#04	発表用の資料作成
73	模擬プレゼン	アプリ制作終了／プレゼン資料作成
74	模擬プレゼン	アプリ制作終了／プレゼン資料作成
75	プレゼンリハーサル#01	プレゼンテーション練習／資料の見直し
76	プレゼンリハーサル#02	プレゼンテーション練習／資料の見直し
77	プレゼンリハーサル#03	プレゼンテーション練習／資料の見直し
78	プレゼンリハーサル#04	プレゼンテーション練習／資料の見直し
79	最終リハーサル	発表リハーサルを実施する
80	最終リハーサル	発表リハーサルを実施する
81	最終リハーサル フィードバック	リハーサルの振り返り、フィードバックネタのまとめ
82	最終リハーサル フィードバック	資料へのフードバック。発表の練習
83	最終プレゼン	検討した資料のプレゼンテーションを実施する
84	最終プレゼン	検討した資料のプレゼンテーションを実施する
85	コンテスト応募(1年次)	コンテストの応募要項にしたい、制作アプリのドキュメント作成・応募
86	コンテスト応募(1年次)	コンテストの応募要項にしたい、制作アプリのドキュメント作成・応募
87	コンテスト応募(2年次)	コンテストの応募要項にしたい、制作アプリのドキュメント作成・応募

回	テーマ	内 容		
88	コンテスト応募(2年次)	コンテストの応募要項にしたい、制作アプリのドキュメント作成・応募		
89	振り返り	授業を振り返る		
90	振り返り	授業を振り返る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント、ノートパソコン		以下備考欄【評価項目（評価の方法）】参照	100.0%	<p>【受講ルール等】：資料は学内ファイルサーバの所定の共有フォルダを介して電子データで配布する。必要に応じて印刷配布をおこなう。／課題は指定された方法で期限までに提出する。</p> <p>／【評価の観点】：Androidネイティブアプリ開発に関する基本的な技術知識の習得度。／グループのメンバとして主体的に協力参加し、チームワークでの成果に貢献したか。／教科書の内容を越えた発展的・応用的な課題に対して、粘り強く積極的に取り組んだか。／【その他】：／【評価項目（評価の方法）】：提出した課題の得点、ペーパーテストの得点、制作物に対する相互レビューの評点、授業態度などを重み付けして総合的に評価する。／なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。</p>